

「総合的な学習の時間」を創るための 基盤づくりの研究(第2集)

- 「カリキュラム開発」を考える -

教育課程編成から「カリキュラム開発」へ

- 「総合的な学習の時間」を位置付けた
「カリキュラム開発」の視点 -
- 実践例・カリキュラムプラン例 -

教育課程編成と「総合的な学習の時間」

「総合的な学習の時間」と「カリキュラム開発」

「カリキュラム開発」の視点

育てたい資質や能力
学習活動の工夫・改善
年間計画の考え方・立て方
校内組織の編制
学びの場を地域社会に広げる
学習活動及びカリキュラムの評価と改善

「カリキュラム開発」の視点と実践例・カリキュラムプラン例

- 1 小学校・中学校編
- 2 高等学校編
- 3 盲・聾・養護学校編

平成13年3月

京都府総合教育センター

刊 行 に 当 た っ て

21世紀の開幕は、国際化、情報化、高齢化など変化の激しい社会の中で迎えました。教育は大きな転換期にあり、今年度は世紀にまたがる歴史的な年度にあたりました。

各学校では新学習指導要領に結ぶ始動元年として積極的に受け止められ教育活動が進められています。中でも「総合的な学習の時間」は完全学校週5日制の実施を視野に入れ21世紀に結ぶ学校づくりの中心として取り組まれた年でもありました。

教育改革はすべからく学校改革であり、学校改革は教職員の意識改革と実践の確かさに裏付けられて初めてできるものです。実践の確かさは児童生徒の生きる力の育成にみられ、生きる力の育成は、外部の評価を得て初めて確かなものになります。

意識改革の原動力は教職員一人ひとりの厳しいプロ意識に基づく自発的主体的な研修であり、各学校の組織的、計画的、継続的な校内研修と実践的研究にあります。ともあれ改革には各学校の課題に適切な情報を得ることが不可欠です。

京都府総合教育センターは、教育の転換期に研究事業として平成11年度は「総合的な学習の時間」を創るための基盤づくりの研究（第1集）の中で「総合的な学習の時間」の基本的な考え方、実施上の留意点、各校種毎の課題点をまとめました。

今年度の第2集は全校種各学校で新しい教育課程の全面実施に向けて特色ある「カリキュラム開発」をするための考え方や視点を研究しまとめました。

一方、研修講座では南部と北部の会場で「総合的な学習の時間」特別講座として延べ4日間開講しました。

この教育資料が、各学校の課題の解決のための情報となり、本格実施前年の小学校、中学校、また本格実施前々年度の高等学校、年次進行の盲・聾・養護学校の「総合的な学習の時間」を創られる時に各学校で活用されますことを願っています。

最後になりましたが本研究の推進にご協力いただきました小学校、中学校、聾学校の研究協力員の方々、また高等学校編については本年度高等学校の「総合的な学習の時間」試行校の実践をいただきました各高等学校、研究に対してスーパーバイズをいただきました大阪市立大学助教授木原俊行氏に厚くお礼を申し上げます。

平成13年3月

京都府総合教育センター

所 長 今 野 芳 子

目 次

刊行に当たって

第1章 はじめに	1
1 研究主題	1
2 研究主題設定に当たって	1
3 研究の目的	2
4 研究の方法	2
5 年次計画	2
6 研究の方向(校種別)	3

第2章 教育課程編成から「カリキュラム開発へ」	5
- 「総合的な学習の時間」を位置付けた 「カリキュラム開発」の視点 - - 実践例・カリキュラムプラン例 -	

教育課程編成と「総合的な学習の時間」	6
--------------------	---

「総合的な学習の時間」と「カリキュラム開発」	6
------------------------	---

「カリキュラム開発」の視点
育てたい資質や能力
学習活動の工夫・改善
年間計画の考え方・立て方
校内組織の編制
学びの場を地域社会に広げる
学習活動及びカリキュラムの評価と改善

「カリキュラム開発」の視点と実践例・カリキュラムプラン例(校種別)

1 小学校・中学校編	9	} 各編ごとに中扉と目次を設け、 詳しいページを示しています。
2 高等学校編	96	
3 盲・聾・養護学校編	131	

おわりに